

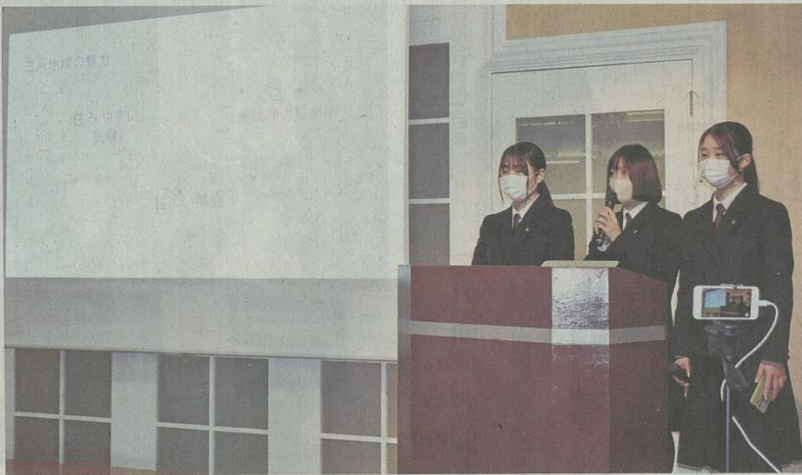
見つけた!仕事と地域の魅力

子育てに理解ある、食べ物おいしい

女子高中生 企業訪問の成果発表

八戸 八戸市内の高校に通う女子生徒が、三八地域の仕事や暮らしの魅力などを調査した成果を発表する38(さんじゅうはち)ライフワークプロジェクト魅力共有会が22日、八戸アラザホテルで開かれた。生徒は地元企業を訪問し、従業員にインタビューした成果として「自然豊かで食べ物おいしい」「ワークライフバランスが取りやすい」など気付いた魅力を発表した。

(田村悠斗)



企業訪問の成果を発表する女子生徒



地元企業の女性社員が仕事や地域をテーマに語ったトークセッション

同プロジェクトは、女子生徒ならではの視点で地域の人材定着や活性化に生かす目的で、青森県三八地域県民局が主催。県立八戸高、県立八戸西高、八戸工大二高、八戸学院光星高、八戸聖ウルスラ学院高から計24人が参加した。昨年7月から取材や写真撮影のこつなどを学ぶ勉強会を開始し、8月に8班に分かれて

2つずつ企業訪問。その後のまとめ作業も生徒自身で行い、発表に向け準備を重ねてきた。

建築資材卸売業を営む企業を訪問し、女性従業員にインタビューした班は「社員に合わせた働き方を認めており、子育てに理解がある」と報告。地域の魅力については「男女関係なく活躍できる仕事があり、交通の便も良い。自然も豊かで子育て世代にとっても生活しやすい」と説明した。後半のトークセッションでは、デーリー東北新聞社と文具や書籍販売などを扱う金入の女性社員が、仕事のやりがいや地域の魅力をテーマに意見交換。「地元に残っても都会に行っても、いろいろなことにチャレンジしてほしい」となど生徒にエールを送った。

ウルスラ高2年の木村桜子さんは「これまで地元のことを深く考えることがなかったので、調査活動でたくさんの方の意見があり楽しかった。三八地域の魅力を多くの人に知ってもらえるよう、発信し続けたい」と活動を振り返った。同プロジェクトのホームページでは、生徒の活動をまとめたe-bookも公開している。

38ライフワークプロジェクトのe-bookにリンク先QRコード

